

The Salesforce logo, consisting of the word "salesforce" in white lowercase letters inside a blue cloud-like shape, is positioned in the top left corner of the wooden sign.

salesforce

CTA レビューボード対策資料

※ CTA: Salesforce Certified Technical Architect

トレイルヘッドアカデミー
アーキテクト・プログラム チーム
2023/2



Forward-Looking Statements

Statement under the Private Securities Litigation Reform Act of 1995:

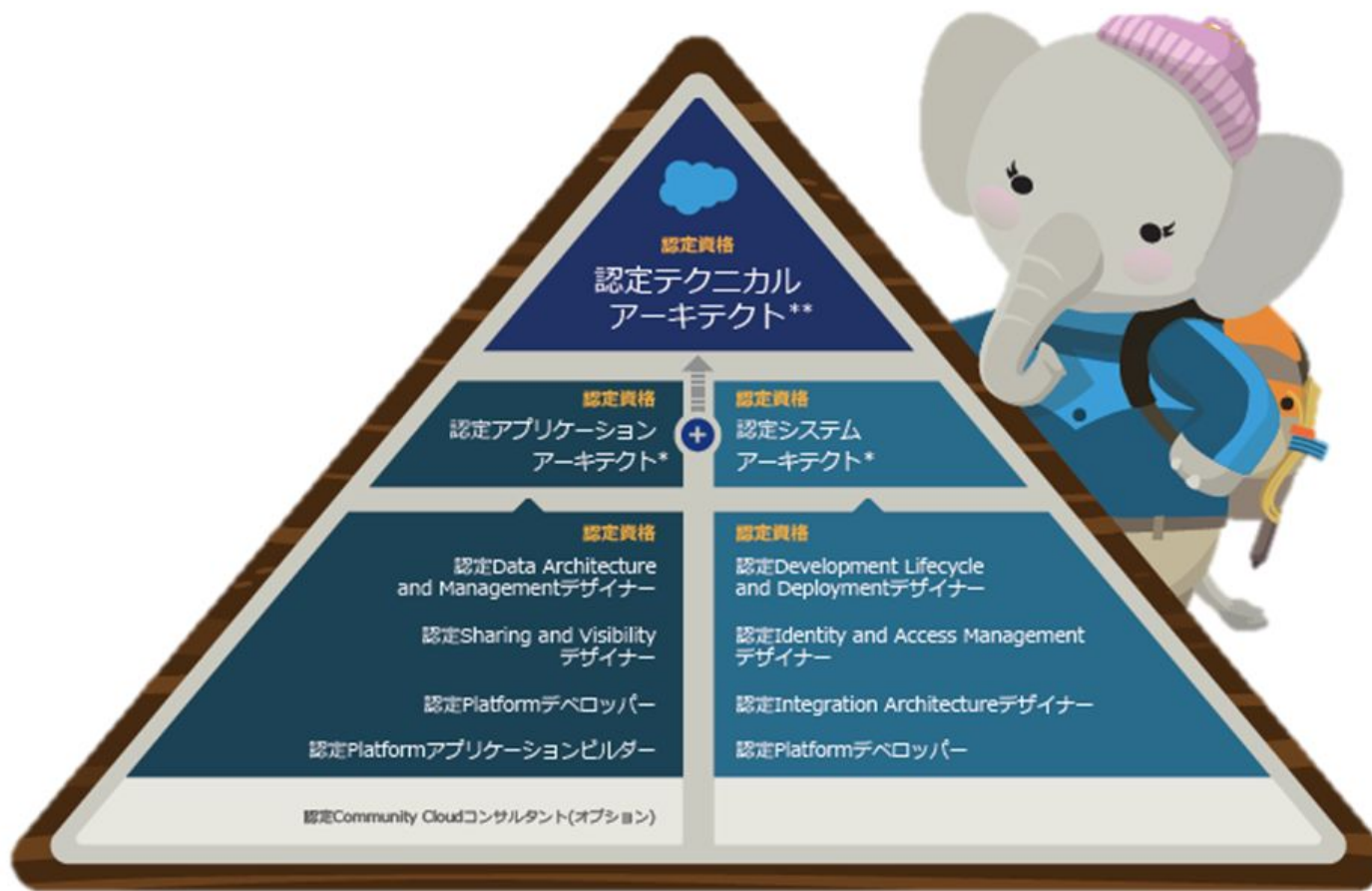
This presentation may contain forward-looking statements that involve risks, uncertainties, and assumptions. If any such uncertainties materialize or if any of the assumptions proves incorrect, the results of salesforce.com, inc. could differ materially from the results expressed or implied by the forward-looking statements we make. All statements other than statements of historical fact could be deemed forward-looking, including any projections of product or service availability, subscriber growth, earnings, revenues, or other financial items and any statements regarding strategies or plans of management for future operations, statements of belief, any statements concerning new, planned, or upgraded services or technology developments and customer contracts or use of our services.

The risks and uncertainties referred to above include – but are not limited to – risks associated with developing and delivering new functionality for our service, new products and services, our new business model, our past operating losses, possible fluctuations in our operating results and rate of growth, interruptions or delays in our Web hosting, breach of our security measures, the outcome of any litigation, risks associated with completed and any possible mergers and acquisitions, the immature market in which we operate, our relatively limited operating history, our ability to expand, retain, and motivate our employees and manage our growth, new releases of our service and successful customer deployment, our limited history reselling non-salesforce.com products, and utilization and selling to larger enterprise customers. Further information on potential factors that could affect the financial results of salesforce.com, inc. is included in our annual report on Form 10-K for the most recent fiscal year and in our quarterly report on Form 10-Q for the most recent fiscal quarter. These documents and others containing important disclosures are available on the SEC Filings section of the Investor Information section of our Web site.

Any unreleased services or features referenced in this or other presentations, press releases or public statements are not currently available and may not be delivered on time or at all. Customers who purchase our services should make the purchase decisions based upon features that are currently available.

Salesforce.com, inc. assumes no obligation and does not intend to update these forward-looking statements

Salesforce 認定テクニカルアーキテクト(CTA)への道のり



本資料の対象者:

ドメインアーキテクト取得者

- 認定アプリケーションアーキテクト
- 認定システムアーキテクト

想定している実務経験のレベル

- ・ 8年以上のSalesforce 経験
- ・ さまざまな種類のプロジェクト・要件に参画し、見識を深める

業務・コンサル経験を活かすなら、こちらの道からスタート！

デベロッパー経験を活かすなら、こちらの道からスタート！

本資料は...

Review Board 試験合格に必要な
準備用の資料をまとめています。

CTA資格:
レビューボード試験
・資料作成
・プレゼン
・質疑応答

認定資格
認定テクニカル
アーキテクト**

ドメインアーキテクト資格:四択ベースの試験

認定資格
認定アプリケーション
アーキテクト*

認定資格
認定システム
アーキテクト*

2022年5月より、試験が 2 段階に 事前評価 + レビューボード試験

salesforce

認定テクニカルアーキテクト



アーキテクト
レビューボード試験の
合格

アーキテクト
事前評価
の合格

new!

認定アプリケーション
アーキテクトの取得

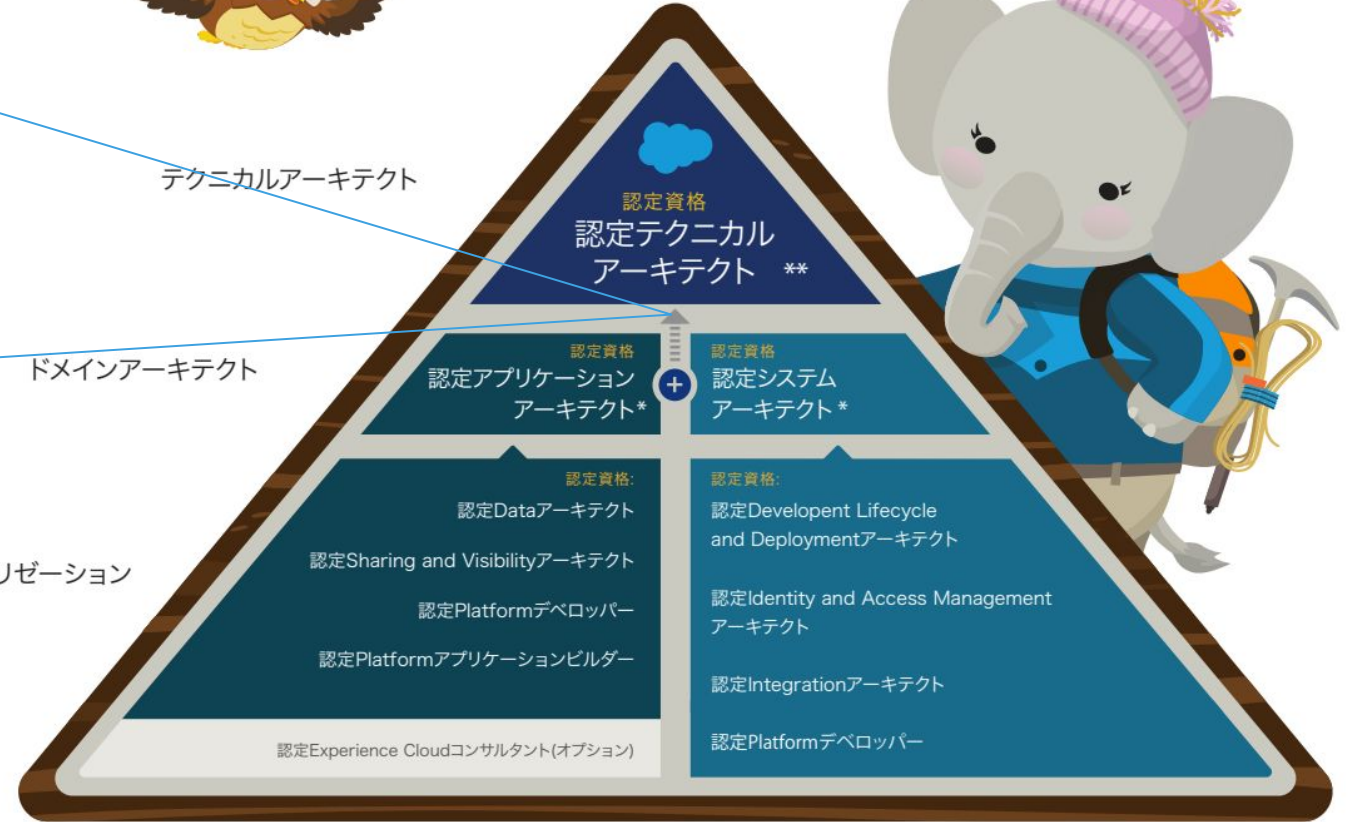
認定システムアーキ
テクトの取得



テクニカルアーキテクト

ドメインアーキテクト

スペシャリゼーション



レビューボード試験とは

レビューボード試験 = ソリューション構築 + プレゼン & 質疑応答

ソリューション構築
180min

プレゼン
45min

Q&A
60min

- 10ページ弱のシナリオ
- 要件を把握
- 要件に対するソリューションを構築
- インターネット検索不可

- 3人の試験官(ジャッジ)の前でプレゼン
- ジャッジはCTA保持者

- Q&Aの範囲
- プレゼンで不明な点
- プレゼンでカバー出来ていない点

難しさ

- シナリオの分量が多い
 - 多くのダイアグラムを作成
 - 各要件のソリューションを提示
- シナリオの難しさ
 - グローバル企業のマルチクラウド
 - コスト的な制約の優先度は低い

- 全体的な整合性
 - 個々の要件をカバーし、全体的な整合性を保ったアーキテクチャ提案
- 質疑応答
 - ジャッジの質問の意図をとらえて適切な対応(ソリューションの修正・保持)が必要

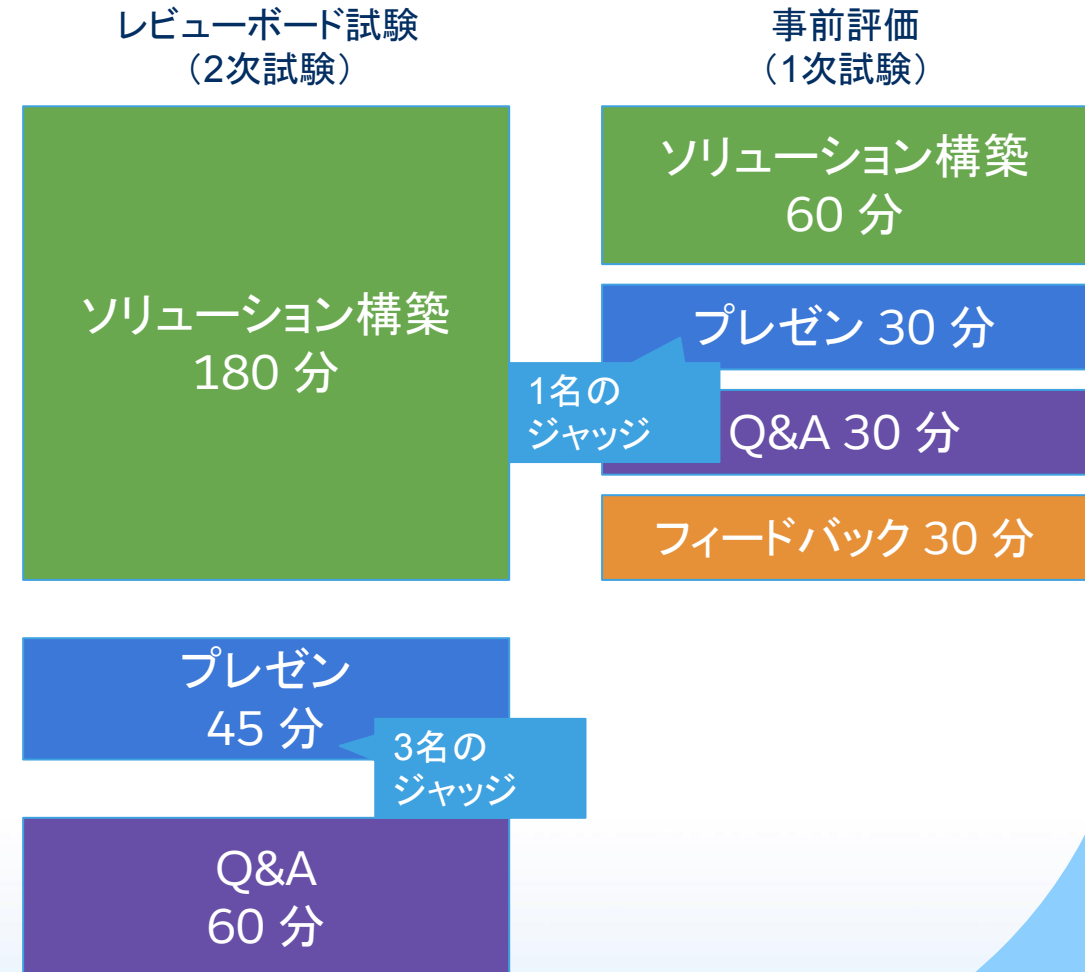
CTA試験の試験形式

レビューボード形式ってどんなもの？試験の流れは？

仮想シナリオに基づく、ソリューション構築＋プレゼン＋Q&A



- 仮想シナリオの読み込み
 - 架空の会社で Salesforce を導入したい
 - 社内外のユーザが利用
 - 既存システムは廃止？存続？
 - 数十個の個別要件
- シナリオに対するソリューションを構築
 - インターネット検索不可
 - システム構成図、オブジェクト構成図などを作成
- 採点者(ジャッジ)の前でプレゼン
 - ジャッジはCTA保持者
- ジャッジからの質問に回答
 - プレゼンで不明な点
 - カバーできていない点



CTA試験の試験形式

レビューボード形式ってどんなもの？試験の流れは？

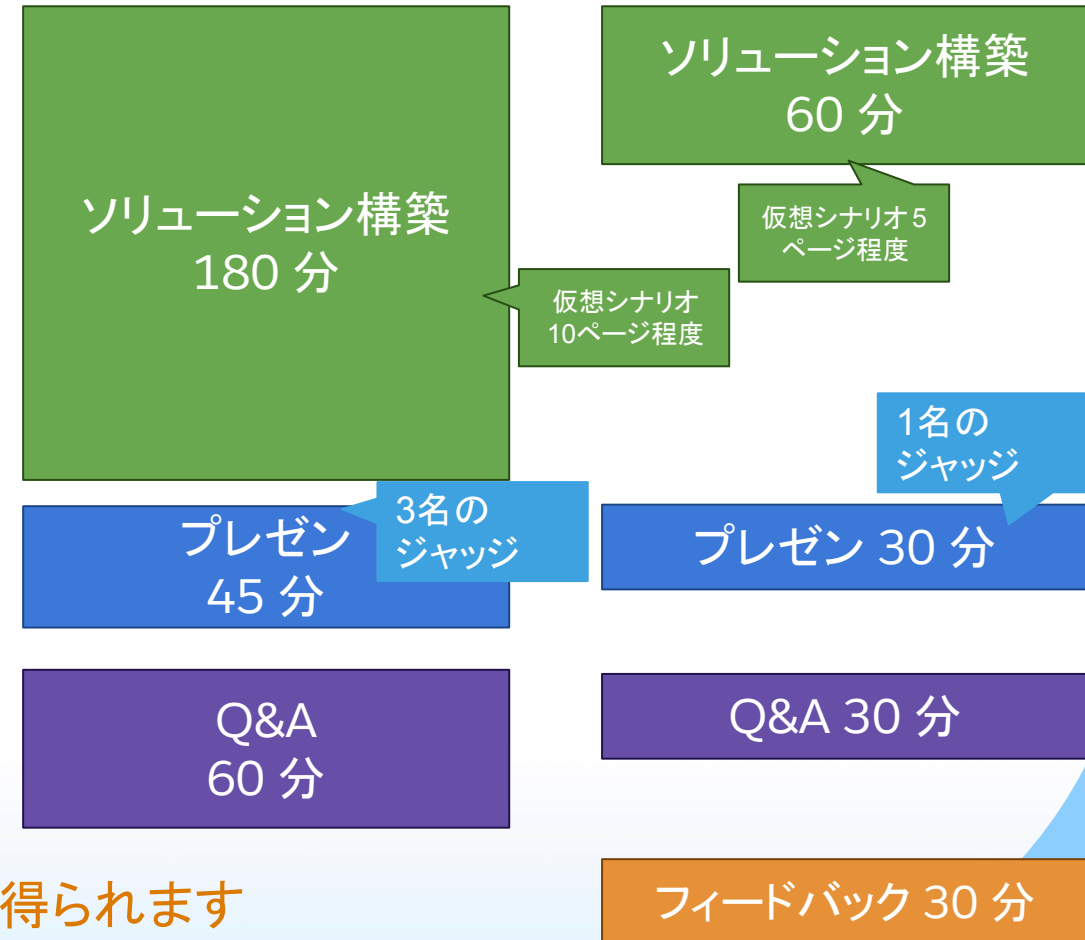
salesforce

仮想シナリオに基づく、ソリューション構築 + プレゼン + Q&A

- 仮想シナリオの読み込み
 - 架空の会社で Salesforce を導入したい
 - 社内外のユーザが利用
 - 既存システムは廃止？存続？
 - 数十個の個別要件
- シナリオに対するソリューションを構築
 - システム構成図、オブジェクト構成図などを作成
 - 個別要件それぞれの解決策を提示
- 採点者(ジャッジ)の前でプレゼン
 - ジャッジはCTA保持者
- ジャッジからの質問に回答
 - プレゼンで不明な点
 - カバーできていない点
- 事前評価ではQA直後にジャッジからのフィードバックが得られます

レビューボード試験
(2次試験)

事前評価
(1次試験)



試験形式の違い

認定テクニカルアーキテクト

試験形式: レビューボード形式

- ・資料作成、プレゼンテーション、質疑応答

事前評価(1次試験)

レビューボード試験(2次試験)

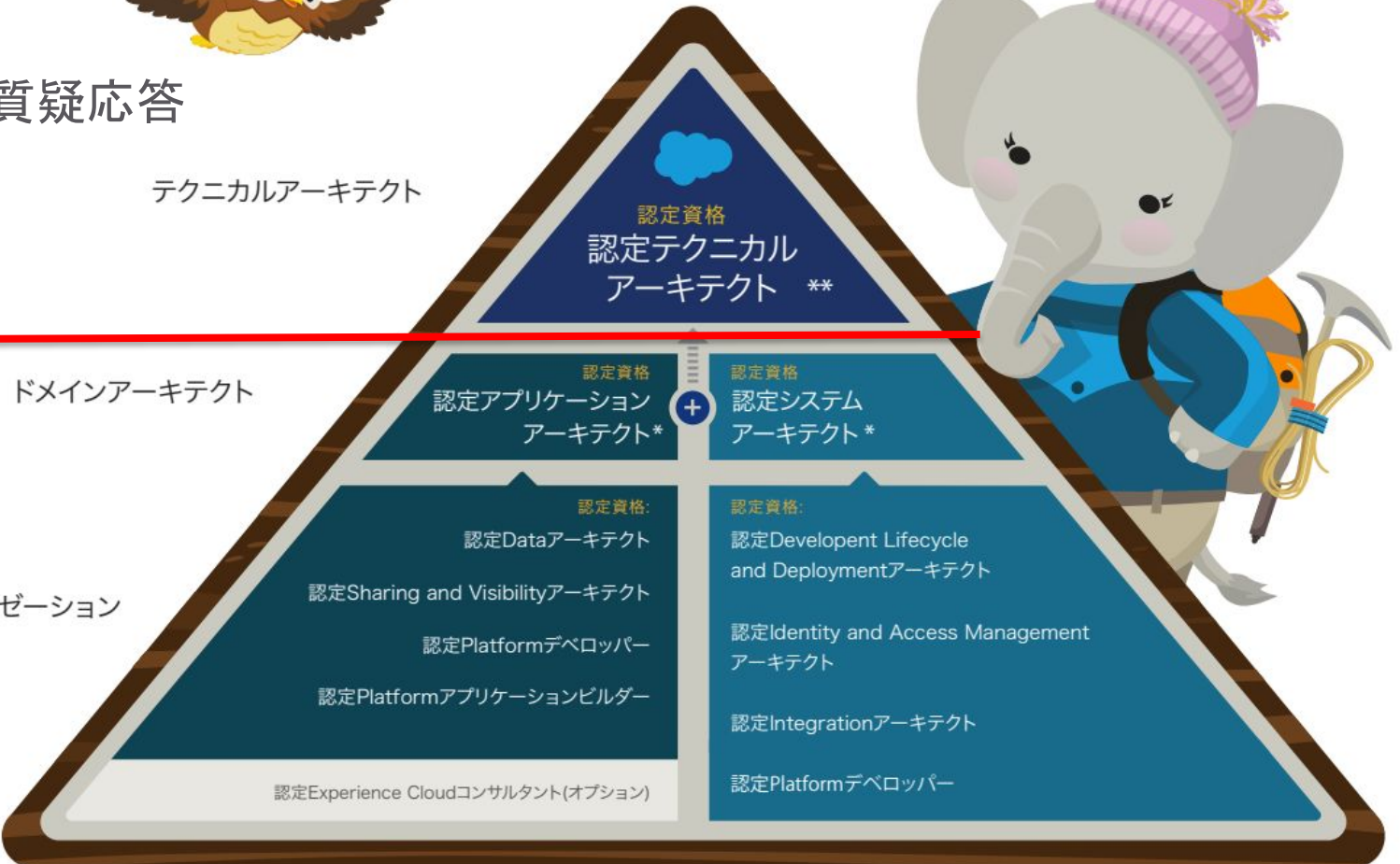


テクニカルアーキテクト

その他の資格

試験形式: 多肢選択式

スペシャリゼーション



レビューボード形式

仮想シナリオに基づく、ソリューション提示+プレゼン+Q&A

- シナリオ - 10ページ弱(本試験)
 - 架空の会社で Salesforce を導入したい
 - 社内外のユーザが利用
 - 既存システムは廃止? 存続?
 - 数十個の個別要件が箇条書き
- シナリオに対するソリューションを構築
 - インターネット検索不可
- 採点者(ジャッジ)の前でプレゼン
 - ジャッジはCTA保持者
- ジャッジからの質問に回答
 - Q&Aの範囲
 - プレゼンで不明な点
 - プレゼンでカバー出来ていない点

採点時のポイント

- identify - 要件を把握
 - solution - 解決策の提示
 - justification - 正当性を示す
-
- インターネット検索不可

仮想シナリオの例 ～ 事前評価練習シナリオ プロジェクトの概要

salesforce

プロジェクトの概要

Patient Travel Support Foundation (PTS財団) は、遠隔地に住む人々(患者)が、地元では受けられない医療を受けられるように支援する非営利団体である。PTS財団は、患者の旅費(バス、電車、飛行機の運賃)を補助することで、患者の治療を支援しています。

PTS財団は、シンガポールに本部を置き、APAC、EMEA、AMERの各地域で活動している。PTS財団は、各地域に10のサテライトオフィスを持ち、特定の地域をカバーしている。これらのサテライトオフィスでは、旅行の申し込みを受け、承認し、予約を行う。

PTS財団は、設立から5年で350万人の患者を抱えるまでに成長した。現在のプロセスは、各サテライトオフィスでローカルに運用されている特注システムで管理されていますが、PTS財団は、現在のシステムとプロセスではこれ以上拡張できないことを理解し、適切なデータとプロセスをSalesforceプラットフォームに移行したいと考えています。

架空の企業・団体に対するSalesforce 導入プロジェクトについて、概略と要件がまとめられた仮想シナリオが与えられます。

仮想シナリオの例 ～ 事前評価練習シナリオ システムのユーザ



システムのユーザ

PTS財団には、以下のようなお客様やパートナーがいます。

1. 患者: 旅費交通費の補助金を申請する
2. 4000 人の医師 (Medical Practitioners): 候補者が医療を受ける資格があるかを評価する

PTS財団には、新システムを使用する必要がある、約500人の社内ユーザがいます。

1. 査定員 (Assessor): 医療従事者 (Medical Practitioners) からの補助金申請書や査定書を審査する
2. マネージャ (Manager): 査定員の世話をし、より高額な補助金の申請を承認することができる。また、ビジネスを運営するマネジメント層のサポートを行う

仮想シナリオの例 ～ 事前評価練習シナリオ

現在のシステム



現在のシステム

1. **Travel Application Management System (TAMS)**は、現在すべての補助金申請書を保存する特注のシステムです。このシステムは、各サテライトオフィスにローカルに配備されています。各サテライトオフィスは、独自のニーズに合わせてカスタマイズしています。
2. **Web** サイトでは、患者や医師がプロセスを理解するのに役立つ静的コンテンツ、ダウンロード可能なPDF医療評価フォーム、およびFAQを提供しています。
3. 各地域で個別の **Active Directory** インスタンスを管理しています。新しいシステムでは、適切なActive Directoryインスタンスを使用して内部ユーザーを認証する必要があります。
4. 健康保険チェッカー (**Health Insurance Checker**) は、グローバルなAPIサービスで、患者の健康保険の資格を確認します。便利なサービスですが、ピーク時には結果を返すのに15秒ほどかかることもあります。

仮想シナリオの例 ～ 事前評価練習シナリオ さまざまな要件



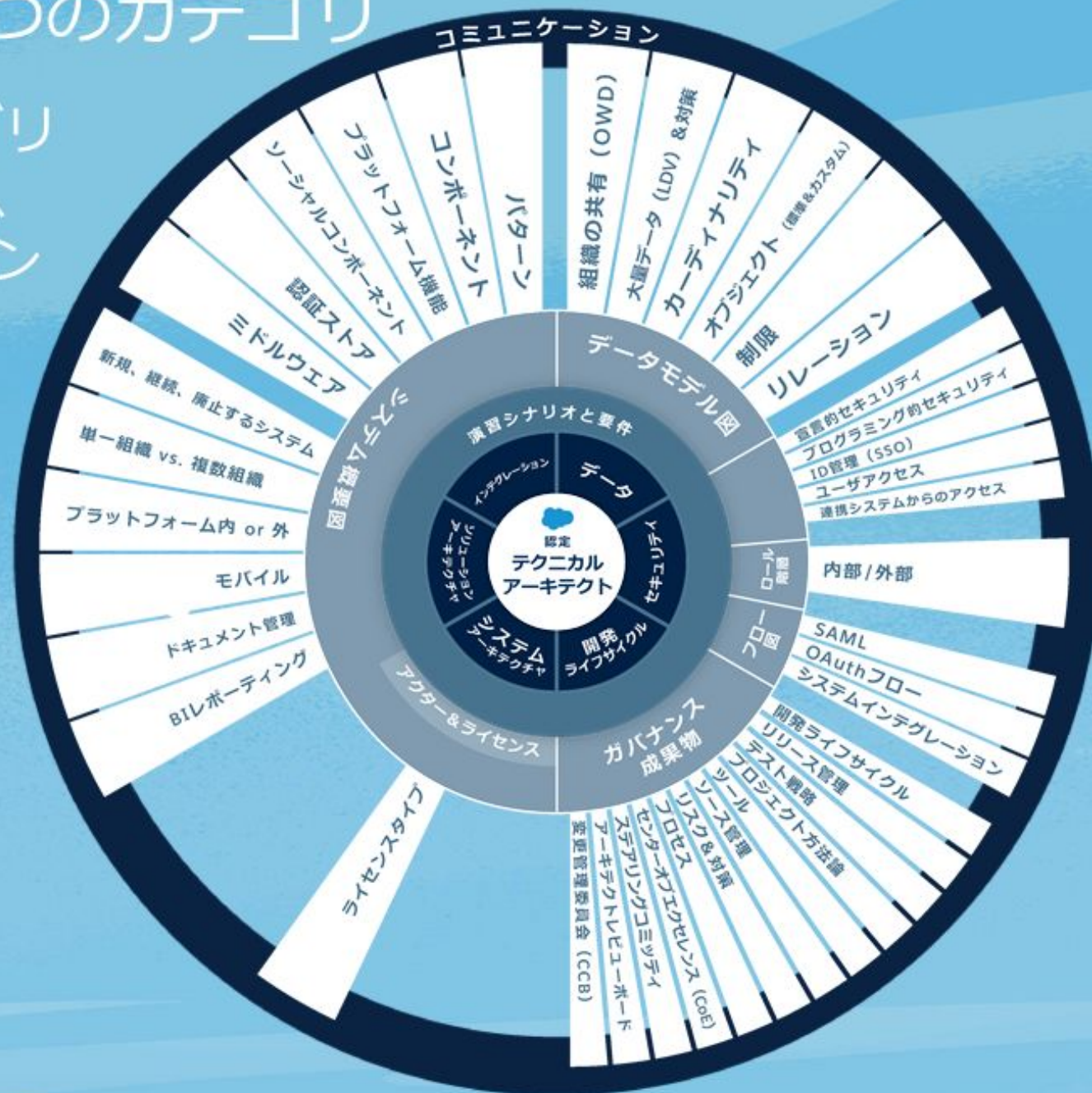
ビジネスプロセス要件

患者の初期登録(Onboarding)

1. 患者は、メールアドレスとパスワード、および Facebook を使ってアカウントを作成する必要があります。
2. 初回のログイン時には、オンボーディングウィザードを使用して、氏名、メールアドレス、生年月日、住所、使用言語、保険などの個人情報を入力していただく必要があります。
 - a. PTS財団は、健康保険チェッカーから返された属性を個人のプロフィールデータにあらかじめ登録したいと考えています。
 - b. PTS財団は、患者が入力した物理的な住所を検証したい。
 - c. オンボーディングプロセスが完了するまで、患者は補助金を申請することができません。
 - d. 患者は、オンボーディングが完了した後、補助金申請プロセスを説明するウェルカムメールを希望する言語で受け取る必要がある。

CTA Wheel - 7つのカテゴリ

技術的な 6 カテゴリのスキルに加えて、コミュニケーションスキルが採点され、合否を判定します



合格の条件

以下のすべてで合格ラインを超えること

- 各カテゴリの得点
- 総合得点

1部のカテゴリのみ不合格の場合、セクションリタイク（ミニシナリオによる追試）

- 試験の採点カテゴリ
- 試験シナリオと要件
- 推奨ダイアグラムとアーティファクト
- ソリューションの考慮事項*

*注 - 主な考慮事項であり、すべての採点基準を網羅したものではありません。

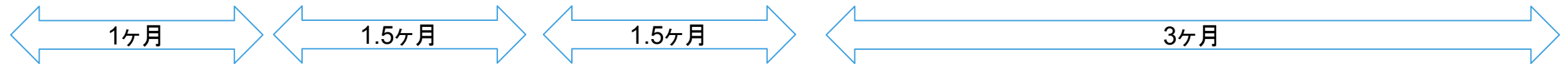


Salesforce 認定テクニカルアーキテクト レビューボード試験への道のり

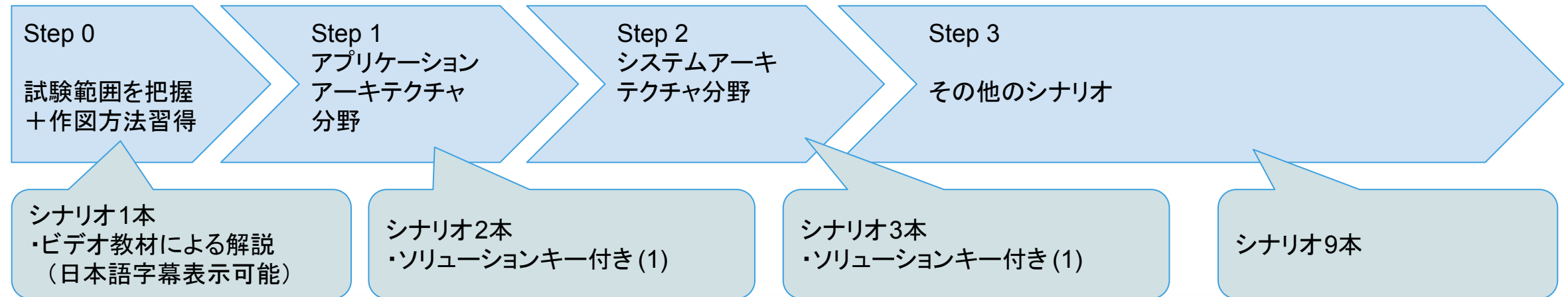


6～8ヶ月かけたスケジュールを立てましょう

推奨スケジュール:



推奨: 認定テクニカルアーキテクト レビューボード試験対策
ワークショップ(CTA601V)コースの受講



公開シナリオ一覧



Step0: 採点トピックと作図の流れ

United Power Scenario JP.pdf	英語の動画説明あり(日本語字幕可)
------------------------------	-----------------------------------

Step1: アプリケーションアーキテクチャ分野シナリオ

United Foods Scenario JP.pdf	
------------------------------	--

Clean Bikes Scenario JP.pdf	ソリューションキー (Clean_Bikes_Solution_Key_JP.xlsx、 Clean_Bikes_Data_Model_Role_Hierarchy_JP.pdf) 付き
-----------------------------	---

Step2: システムアーキテクチャ分野シナリオ

Universal HealthBitScenario JP.pdf	
------------------------------------	--

Acme Insurance Scenario JP.pdf	
--------------------------------	--

BabyboxScenario JP.pdf	ソリューションキー (BabyBox_Solution_Key.xlsx、 BabyBox_System_Landscape.pdf) 付き
------------------------	--

Step3: その他シナリオ

City Scooter Share Scenario JP.pdf	
------------------------------------	--

Galaxy Cars and Trucks Scenario JP.pdf	
--	--

Green Roof Systems Scenario JP.pdf	
------------------------------------	--

Greenhouse Recycling Scenario JP.pdf	
--------------------------------------	--

Laptop to Schools Scenario JP.pdf	
-----------------------------------	--

Pollard Financial Services JP.pdf	ショートシナリオ
-----------------------------------	----------

Universal Safety Technologies JP	2020/9 追加
----------------------------------	-----------

公式練習シナリオ - Mega Print	2023/2 追加
-----------------------	-----------

事前確認用練習シナリオ .pdf	2022 追加
------------------	---------

推奨準備ステップ: 全体



- Step 0: 試験範囲を把握
 - CTA Wheel
 - アプリケーションアーキテクチャワークシート
 - システムアーキテクチャワークシート
 - レビューボード練習用スコアカード
 - ソリューション作成方法ビデオ教材(シナリオ0)
- Step 1: アプリケーションアーキテクチャ分野
 - シナリオ1~2
- Step 2: システムアーキテクチャ分野
 - シナリオ3~5
- Step 3: 練習シナリオにチャレンジ
 - シナリオ6~14

推奨準備ステップ: Step 0 - 試験範囲を把握しましょう



- Step 0: 試験範囲を把握
 - CTA Wheel
 - アプリケーションアーキテクチャワークシート
 - システムアーキテクチャワークシート
 - レビューボード練習用スコアカード
 - ソリューション作成方法ビデオ教材(シナリオ0)
- Step 1: アプリケーションアーキテクチャ分野
 - シナリオ1~2
- Step 2: システムアーキテクチャ分野
 - シナリオ3~5
- Step 3: 練習シナリオにチャレンジ
 - シナリオ6~14

Step0: 試験範囲の把握

各アーキテクチャ観点でのObjective(採点カテゴリ)を把握



アプリケーションアーキテクチャ

- 機能要件の収集と定義
- 機能設計
- データモデルの作成
- セキュリティモデルの作成
- クラウド機能

システムアーキテクチャ

- システムおよび連携要件の収集と定義
- プラットフォーム外コンポーネントとライセンスの推奨
- 最終状態のシステム概観の定義
- SSOとソーシャルサインオン
- ソリューション図と妥当性
- プロジェクト管理/ガバナンス
- 実装戦略

Step0: 試験範囲の把握 練習用スコアカード



- 受験ガイドで公開されている試験範囲にもとづいたチェックリストです
- 発表練習時に使用してください
 - コーチ(CTA資格保持者)、CTA受験者を交えて練習

採点項目 – システムアーキテクチャ

トピック	評価	コメント
適切なシステムの組み合わせを提案しているか。		
レポートと分析に関する考慮事項、トレードオフ、リスクに言及しているか。		
単一組織 / 複数組織の決定と計画、実装、運用上のアーキテクチャ上の考慮事項に言及しているか。		
モバイルソリューションに対する考慮事項、トレードオフ、リスクに言及しているか。		
必要とされるライセンス種別を適切に提案できているか。		

Step0: 試験範囲の把握 + 作図方法を学ぶ

Diagramming Solutions

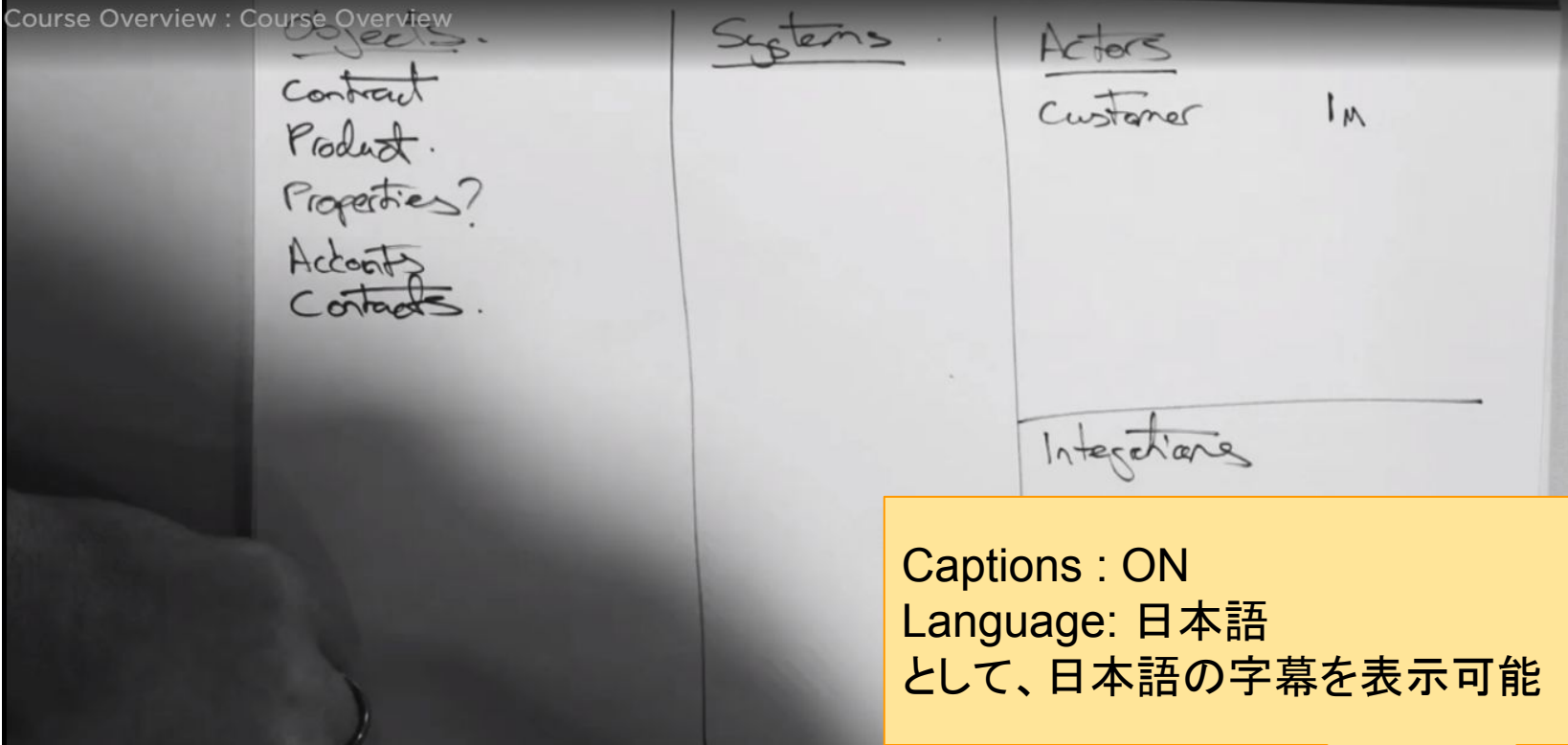
salesforce

- Solution 作成手順
(主に作図方法)の紹介
 - 必須の手順ではない
 - 自身の進め方を確立するための参考として有用
- シナリオ
 - 英語
 - 日本語
- 2時間

このWebサイト(Pluralsight)にはその他にも有償/無償のコンテンツが多数あります

Play By Play: Diagramming Salesforce Solutions

Course Overview : Course Overview



The diagram is a hand-drawn sketch on a whiteboard, divided into three main columns by vertical lines. The first column is titled 'Objects' and lists 'Contract', 'Product', 'Properties?', 'Accounts', and 'Contacts'. The second column is titled 'Systems'. The third column is titled 'Actors' and lists 'Customer' and 'IM'. Below the 'Actors' column, there is a horizontal line and the word 'Integrations' written below it.

Captions : ON
Language: 日本語
として、日本語の字幕を表示可能

Morrisに挑戦し、複雑なSalesforceソリューションの多くの動く部分を取り、
伝達する方法を説明します。

Captions: ON | OFF
Language: 日本語 ▾

1:00 / 2:28

CC 1.0x

Step0-2の間に: 認定テクニカルアーキテクトレビューボード 試験対策ワークショップ - Virtual 版 (CTA601V) のご受講を 試験内容の把握とプレゼン練習 (CTAホルダーからのフィードバック)

salesforce

コース詳細・お申し込みは [こちら](#) から

対象者:

- 認定アプリケーションアーキテクト資格の保持
- 認定システムアーキテクト資格の保持
- Salesforce 経験に長けたアーキテクト
- CTA 受験予定者

形式:

- リモート開催

期間:

- 3日 (3時間, 3時間, 2時間)

想定受講時期:

- 事前評価受験の
6~8カ月前



レビューボード対策講座

試験の目的

Understand
Requirements and
Articulate Objectives

ベストプラクティス

Time Management,
Requirements
Synthesis, Concise
Presentation

試験の成果物

Understand and
Describe the Right
Diagrams and Key
Artifacts

練習シナリオ

Hands-on Exercises,
Mock Scenarios,
Expert Feedback



推奨準備ステップ: 全体



- Step 0: 試験範囲を把握
 - CTA Wheel
 - アプリケーションアーキテクチャワークシート
 - システムアーキテクチャワークシート
 - レビューボード練習用スコアカード
 - ソリューション作成方法ビデオ教材(シナリオ0)
- Step 1: アプリケーションアーキテクチャ分野
 - シナリオ1~2
- Step 2: システムアーキテクチャ分野
 - シナリオ3~5
- Step 3: 練習シナリオにチャレンジ
 - シナリオ6~14

Step1/2: アーキテクチャ分野のソリューション作成



Step1と2は順不同

- Step1: アプリケーションアーキテクチャ
 - シナリオ1: United Foods
 - ★ シナリオ2: Clean Bikes
- Step 2: システムアーキテクチャ分野
 - シナリオ3: Universal Healthbit
 - シナリオ4: Acme Insurance
 - ★ シナリオ5: Babybox

★ソリューションキーにより、作成すべき成果物を確認できるシナリオ

ソリューションキーとは、、、要するに解答例

注)ソリューションキーは2017年時点のものであるため、最新ソリューションとしてではなく、あくまでも参考として見てください。

おすすめ教材: CTA prep - 2 minutes drill

短い文章に対して、ソリューション提案の練習を積む

- 概要の紹介: <https://www.youtube.com/watch?v=ZjpRCh4hkIk>
- なるべく短い時間でシナリオを読み、以下の3点を明確にする。
 - identify: 問題点の識別
 - solution: 解決策の提示
 - justify: 解決策の正当性を示す
- これらについてプレゼンテーション
 - 自分で録音・録画
- 全 6 トピック
 - データモデル: https://www.youtube.com/watch?v=ms_HELkpRJE
 - LDV: <https://www.youtube.com/watch?v=bKpfYgtJ1zq>
 - セキュリティ1: <https://www.youtube.com/watch?v=lnIDhcEZzEM>
 - セキュリティ2: <https://www.youtube.com/watch?v=jl0xVnrsKGk>
 - ソリューションアーキテクチャ: <https://www.youtube.com/watch?v=giYPLQFJM0w>
 - インテグレーション: <https://www.youtube.com/watch?v=2l6sNFSwRRk>

推奨準備ステップ: 全体



- Step 0: 試験範囲を把握
 - CTA Wheel
 - アプリケーションアーキテクチャワークシート
 - システムアーキテクチャワークシート
 - レビューボード練習用スコアカード
 - ソリューション作成方法ビデオ教材(シナリオ0)
- Step 1: アプリケーションアーキテクチャ分野
 - シナリオ1~2
- Step 2: システムアーキテクチャ分野
 - シナリオ3~5
- Step 3: 練習シナリオにチャレンジ
 - シナリオ6~14

Step3: 練習シナリオにチャレンジ



- Step 3: 練習シナリオにチャレンジ
 - シナリオ6: Galaxy Cars and Trucks
 - シナリオ7: Pollard Financial Services
 - シナリオ8: City Scooter Share
 - シナリオ9: Green Roof Systems
 - シナリオ10: Greenhouse Recycling
 - シナリオ11: Laptop to Schools
 - シナリオ12: Universal Safety Technologies
 - シナリオ13: 公式練習シナリオ - Mega Print
 - シナリオ14: 事前確認用練習シナリオ.pdf

- 6-14は順不同
- 初めは時間無制限で解く
- その後時間を測って挑む

- メンター(コーチになってくれるCTA)を探しましょう
- 一緒に練習する仲間を探しましょう

模擬レビューボードを開催しましょう



一般的な開催例

【ルール】

- シナリオ、発表者を事前に決定
- 発表者は成果物を事前に共有
- 発表者以外はジャッジ役となる
 - CTAが中心となり質問を行う
 - 全員スコアカードにメモしてフィードバック

【スケジュール】

- プレゼン 45分
- QA 60分
- 振り返り 15分

【一般的な発表内容・順番】

- システム導入の目的(一言程度でも十分です)
- 組織戦略(単一組織/複数組織)
- アクターとライセンス
- システム概要図(新規、廃止、存続システム)
- データモデル
- ロール階層図
- シナリオ要件ごとのソリューション
 - 各要件に対して、ご自身が選択されたソリューションを発表ください。
- リリース管理図
- SAML/OAuthフロー図

CTAに会える場所は？

Trailblazer Community - [Salesforce Architect Group \(Japan\)](#)

- ドメインアーキテクト取得に向けた情報共有・勉強会
- 定期的なミートアップ

Partner Community - [TA RoundDiscussionTable \(in Japan\)](#) 非公開グループ

- 両ドメインアーキテクト保持者を対象
- 年3回のミートアップ

その他

- CTAからの有用なアドバイス:「[Salesforce最難関資格CTA合格 虎の巻](#)」

CTA601V ご受講者特典 ～ Chatter Group へご招待

salesforce

CTA601V コース受講者特典 招待制Chatter Group「模擬レビューボード」への招待

事前評価試験やレビューボード試験のご受験を目指している方が、模擬レビューボードの開催を告知する場としています。

ご活用例

- 他の方の模擬レビューボードに参加
- 自身で模擬レビューボードを開催
- 合格後は、他の方の模擬レビューボードにジャッジ役として参加

※ 他の参加メンバー（Salesfor社員、パートナー企業、ユーザ企業）にお名前や設定したプロフィールなどが表示されますことに、ご了承いただける方がご参加ください。



認定資格
認定テクニカル
アーキテクト

模擬レビューボード (Mock Review Board) in Japan
非公開、お客様を含む

Chatter エンゲージメント Quip

投稿 質問 アンケート 感謝 お知らせ

最新情報を共有...

並び替え
最近の活動

このフィードを表示...

接続URL:
対象シナリオ:
プレゼンター:
ジャッジあり/なし:
その他の社内参加者:

【模擬レビューボードに参加される方】
「開催案内」に対してコメントを記載ください。
対象シナリオはご自身でも解いてください。

【CTAの方】
特にCTAジャッジがない開催では、ご参加いただけると助かります。

アーキテクト向けトレーニングコース



- [ARC101](#) Integration Architect資格の範囲をカバー
- [ARC901](#) Application Architect の2資格(Data, Sharing & Visibility)の概要理解
- [ARC902](#) System Architect 対策 の3資格(Integration, Identity, Dev Lifecycle)の概要理解
- [CTA601V](#) 事前評価試験・レビューボード試験対策

THANK YOU



※ このファイルは Trailblazer Community (<https://trailblazers.salesforce.com/0693A000007cQtN>) からダウンロード可能です。